



平成30年度は、4月17日（火）に実施しました。対象は全国学力・学習状況調査が小学6年、中学3年。県学力状況調査が小学5年、中学1年、2年です。上記のレーダーチャートグラフは、県の平均正答率と町全体の平均正答率との比較を表しています。全国調査のA問題は基礎・基本的な問題、B問題は活用力を見る問題です。小学校ではすべての教科で県平均よりも高い結果となっています。黒丸で囲んだ中学2年国語 3年国語A 1年数学 3年数学Bが県平均正答率よりも低い結果となり、本町の課題としてあげられます。基礎基本の確実な定着や、活用力を高める授業作りについて取り組みを進めていきたいと考えています。